



2026年 本年もよろしく お願いいたします

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
組合員・ご家族のみなさまにおかれましては
輝かしい新春を迎えられたことをお慶び申し上
げます。今冬は「十年に一度の暖冬」と言われ
ていますが、寒さ厳しく、インフルエンザも早
い時期から流行期に入り猛威を振るっていま
す。健康には十分な注意を払い、お過ごしいた
だきたいと思います。

昨年の世相を表す漢字一文字は「熊」であり
ました。一部では市街地にまで出没し、農作物
や建造物に限らず人的被害が増大しています。
また、相次ぐ地震に加え、気候変動による災害
級の猛暑や豪雨、豪雪により、業務と生活はよ
り一層厳しい環境に置かれています。そのよう
な中でも私たちはお客さまの安全を最優先に組
合員・ご家族の命と健康を守りながら「安全・
安定輸送」に徹してきました。一方で新幹線の
列車分離や不祥事など、お客さまや地域のみな
さまからの信頼が大きく揺らぐ事象も発生しま
した。社員は第一線の職場で日々汗を流しなが
ら信頼回復と収入の確保に奮闘してきたことを
忘れてはなりません。

2025春闘における「JR東日本の基本給
は総じて低い」とした東日本ユニオンの主張
は、多くのJR社員の「気付き」となり、JR
労働者の団結力が強く大きくなったことで、会
社発足以来、過去最高の基本給改定額を経営側
から引き出すことができました。

また、期末手当「年間最低6.5ヶ月以上」
とする東日本ユニオンの要求は、兼務業務など
による質・量の増加、好調な経営状況、止まる
ことない物価高騰などを鑑み、当然の要求とし
て確立され、組合員のみならず多くの社員のみ
なさんに共鳴・賛同をいただき、着実にJR東
日本で働く仲間たちに浸透しています。職場で
の地道な取り組みの積み重ねが要求実現に向け
た大きなうねりとなり、組織拡大・JR労働者
の団結力をさらに強めています。

その団結力は、2025年度年末手当におい
て六年ぶりに3.0ヶ月を超える回答を引き出
す大きな力となりました。2025春闘を教訓
に、全てのJR労働者の団結をもつて労働組合
が主体となった2026春闘をつくりだし、物
価高騰に負けず生産性の高い働き方とその質に
見合った「勇翔2034」を担うに相応しい賃
金引き上げと労働環境の確立をめざします。

私たちは「変革2027」を担い作りだし
てきました。融合と連携を柱とした施策は、直
接的にも間接的にも私たちの働き方と生活を大
きく変えました。そこには、社員のみならず家
族や仲間たちの苦労や犠牲が伴い、未だ課題や
問題点を残しています。

昨年5月、JR東日本は「新たな会社組織」
「新たな人事・賃金制度」を提案しました。そ
の上で、グループ経営ビジョン「勇翔203
4」を打ち出しました。現在も多くの疑問や不
安が寄せられ、その解消に向け、JR労働者の
声を力に解明交渉や基本 요구づくりを進めてい
ます。JR東日本グループの持続的成長と発展
には、社員に対する正当な賃金と衣食住の安定
は不可欠です。社員誰もが納得のできるよう、
積み残された課題解消と施策の実現を求めてい
きます。

JR東日本が大きく変わろうとしています。
「無意識・無自覚・無関心」では社員と家族の
明るい未来は創造できません。これまで培って
きたJR労働者の団結力をさらに高め、あきら
めることなく、挑戦の2026年にしていきま
しょう。

本年が組合員・ご家族のみなさまにとって、
健康で実りある一年となることをご祈念申し上
げます。本年もよろしくお願いいたします。

2026年 元旦

J R東日本労働組合 中央執行委員長

藤本 圭一